

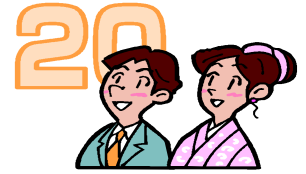
角野公民館 だより



ためになる ことば シリーズ

「心が変われば行動が変わる。」「行動が変われば習慣が変わる。」「習慣が変われば人格が変わる。」「人格が変われば運命が変わる。」 メジャーリーガー松井秀喜の高校時代の恩師・山下智茂監督が松井選手に贈った言葉……。皆さん如何ですか。 M.S

成人の日を迎えられた皆さん、 おめでとうございます！！



今年は、角野校区の男性50名、女性62名、合計112名が成人の仲間入りをされました。今後のご活躍を期待します。

「成人を迎えて」

網干 幸希さん



私は今年、初の平成生まれの新成人が誕生した節目の年に成人式を迎えました。
私は昭和63年の生まれですが、私たちが生きてきた20年間は昭和から平成へと世の中が大きく変化した時代でありました。しかしながらこれからはますます大きな変化が求められる時代となります。少子高齢化社会、年金問題、都市部と地方間の格差拡大等々、さまざまな問題が早急な改革や抜本的な正策を必要としています。それまでは目を背けていた物事にも、私たちは今一度真剣に「向き合い」、「考え」、「行動」していくことが求められます。それは非常に難しいことなのかもしれませんが、選挙時に投票すること一つを取っても大好きなまちをより良くしたいという気持ちを行動に移す良いきっかけである、と私は考えます。
大人の仲間入りを果たし、私たちはまた新しい一歩を踏み出し始めたところです。これまでは家族や友人に支えられてきましたが、これからは自らが恩返しとして周囲の支えとなれるよう、しっかり行動できる自立した大人となっていきたいと思えます。

— 七草がゆを食べたよ！！ —

1月8日(木)に、角野公民館にて「七草がゆ」が行われ、角野保育園や角野小学校の子どもたちがたくさん参加してくれました。



角野公民館生涯学習講座合同セミナー 『閉講式記念講演』のお知らせ

- ◇ 講演 「御釈迦様の生き方を習う」
- ◇ 講師 檜崎 通元 老師 (瑞応寺住職)
- ◇ と き 平成21年2月10日(火)
午前10時～11時半
- ◇ ところ 角野公民館

※多数の皆様のご来場をお待ち申し上げます。

角野校区の人口と世帯 (平成20年12月末日現在)

・人口	12,303人(+38)
・男	5,791人(+15)
・女	6,512人(+23)
・世帯	5,366人(+13)
	()は3か月前との比較

2月の行事予定

3日(火)	老人クラブ役員会	9:30~12:00
4日(水)	食生活改善推進協議会活動日	8:30~14:00
"	笑いの介護予防教室⑥	10:00~12:00
"	角野分館おはなし会(幼児対象)	15:30~16:00
5日(木)	老人クラブ会長会	9:30~12:00
"	食生活改善推進協議会活動日	8:30~14:00
10日(火)	合同セミナー 閉講式記念講演	10:00~11:30
17日(火)	民生児童委員会	19:00~21:00
18日(水)	角野分館おはなし会(幼児対象)	14:00~14:30
28日(土)	老人クラブ女性部踊り教室	13:00~15:00

※18日(水)の食改は宮喜自治会館です。

変更になりました！！

先月号に、NHK総合にてNPO法人守ってあげ隊(GPM)の活動が放映されますとお知らせしましたが、松山放送局に限り放映日が以下のとおり変更になりました。

2月1日(日) 午前10時05分より

(NHK総合「難問解決ご近所の底力」にて紹介されます。)

【お詫び】先月号の「丑年男女の今年の抱負」を書いていただいた、角野小学校5年生の平山加菜さんの名前が間違っていましたので、訂正します。

誤：平山加奈 ⇒ 正：平山加菜 ご迷惑をおかけしまして大変申し訳ございませんでした。

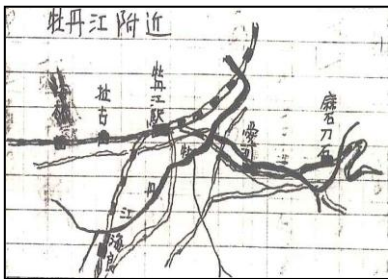
語り継ごう 『角野公民館元館長 横川 静氏遺稿より』

『抑留生活』 - その④ -

※記録された時代が不明ですので、集計や報告の数字は現在と一致しない点や誤字はご容赦ください。

～前号からのつづき～

夜間になると弾丸を運ぶ仕事がある。その道中で、前線からの輸送を終わり帰る道で前線に向かう輸送車と出会い、離交する時無灯火であるためと道路が狭いので、2番車両の兵が相手の車に挟まれ右足を切断された事故で、車を停めて応急処置をし牡丹江の陸軍病院へ走ったが、応急処置の不備と戦闘中で病院到着が遅れ出血多量で死なせてしまった。戦争とはこの様な無茶苦茶な争いなのである。



二度と戦はあってはならない。こんな事故があつて我々は、連日森林の中を逃げ逃げ回っていた。

山中をうろうろしている間にソ連軍の戦車は先回り

して「哈雨濱」に出ていた、我々は敵の中間に挟まれていたのだ。

「横道河子」の小高い山の中腹に「禪」が松の木に吊るされて風になびいていた、「昭和20年8月18日午前8時」の事である。

戦争が終わった。「敗戦か」・・・。

終戦

我々独立自動車中隊はバラバラである。前線にいる者、弾薬庫にいる者、行動途中で逃げている者、「横道河子」の機関庫に13人程の者が他の部隊と一緒に武装解除を受けている。この時の先住者は桐沢曹長（新潟県）であり以後行動を共にする人だ。戦争が終わったと思ったのも束の間だった。

「横道河子」の河原には集積された小銃、軍刀、帯剣、剣銃等、「昨日まで天皇陛下の下賜品」として命よりも大切にしていた武器が山積みされ、ガソリンをかけ焼かれる。火の手が上がり黒煙と共にその姿、形が無くなる。無念だ。戦争に負けた我々はこれからどうなるのだろう、戦友と抱き合っ泣いた。あれから59年、抱き合った戦友との感触が今尚胸の内に生きている。

～次号へつづく～

（記・広報部 谷屋）

「角野校区に残る近代化産業遺産めぐり」開催！！

去る12月24日（水）に、角野公民館主催の「角野校区に残る近代化産業遺産めぐり」が開催されました。

角野小学校児童を対象に行ってきた遺産めぐりも3回目となった今回は、角野小学校の生涯学習授業の一環として、6年生の児童全員で遺産めぐりを行いました。

今回も、県立新居浜南高等学校情報科学部の部員が遺産めぐりのガイド役を務めてくれました。100人余りの

児童を5班にわけて、5人の部員達がそれぞれの班の児童に対して、熱心に近代化遺産の説明を行っていました。6年生の児童は、とても有意義な時間を過ごすことができたと思います。



角野中学校2年 伊藤 憲史

僕たちが少年式を迎えられたのは、今まで保護者の方々や先生方に支えられ様々な面で成長しつつ生きてこられたからだと思います。

そして、この少年式を人生の一節とし、新たな目標を立てたり、すでにそれがあつた人は見直したりして意味のあるものにすることが大事なのではないでしょうか。なぜなら、どんなことでも自分にとって良いように活用するべきだと僕は思うからです。

これからは、今の自分を少しでも大人に近づけられるように成長を意識し、生きることに全力を捧げようと思います。そのためにこれまでの体験を活かすのも14年間という時間を過ごしたからできることだと思います。ですが、未熟な僕たちは、保護者の方や先生方のお力を借りなければ、生きていくことはできません。少年式を迎え成長しようとするだけでなく改めて感謝の気持ちを持つことも大事だと思います。

少年式を迎えて

角野中学校2年 白川 満里奈

私は少年式が愛媛県で生まれたと聞いたことがあります。実際はどうなのだろうと調べてみると昭和39年に愛媛県で、できたもので『自覚・立志・健康』を目標として中学2年生がたくましく育つことを願って作られたものだそうです。

私は他の地方にはない少年式を迎えられることをとても誇りに思い、また、このようなすばらしい日を作ってくださつた愛媛に感謝したいです。

家族の他にも私たちを見守ってくれている人がたくさんいるということをととても頼もしく感じます。

生まれ育つたこの土地に恩返しできるように、どんな時も強い意志を持って努力し何事にも誠心誠意尽くしたいと思います。

※少年式とは、「立春の日（2月4日）」を「少年の日」として、14歳を迎えた中学2年生を祝福し激励する行事です。